


第9回 大学入試の在り方に関する検討会議 資料



熊本県立八代高等学校

進路指導主事 高木 慎二

2020/06/16

ご紹介

熊本県立八代高等学校

創立125年目 県南部八代市にある普通科高校

県立の中高一貫校として中学を併設して12年目

1学年6クラスの規模の進学校



ヒアリング聴取項目への見解として 本日お話しする内容

- ①入試改革の迷走について
- ②英語の4技能統合の指導
- ③英語民間資格検定試験導入の見送り
- ④CEFRで見た実態
- ⑤共通テスト
- ⑥提案



①入試改革の迷走について

* 改革理念は十分に理解できるが、進め方に問題あり。
最も大切な「同条件で公平な受験機会の提供」に
問題があった。→現在の状況に

例 英語の民間試験の成績提供システム導入

「公平性確保」ができない

「地域や経済状況の差」の問題

進めていく上で十分な施策の説明がなかった

②英語の4技能統合の指導

現行の指導要領のもと、現場で「4技能」統合の英語指導が進行中

* 語彙や文法等の知識の獲得に加えて、スピーキングやプレゼン、エッセーライティングなどを織り込んで、スキルおよび経験値を上げる指導



* 背景に今回の民間試験活用があった。

③英語民間資格検定試験導入の見送り

公表時から(ずっと)指摘されていた問題点の対応が十分でなかった

1)対象もねらいも異なる複数の試験をCEFRで並べる？

CEFRのバンドは広すぎないか？

2)試験会場受験料など、「都市部VS地方」で差が。

3)大学へ活用を強く働きかけ

→個別試験とのバランスの問題

④CEFRで見た実態

データを紹介します。

本校の某年度生徒のGTEC4技能、英検、センター試験英語(200点換算)のまとめ

1 データ GTEC(各320点、1280点満点)は215名、センターは228名が受験。
英検は各個人が取得した最高級。

2 GTECトータルスコアでまとめ(1280満点)

トータルスコア	GTEC				センター	英検取得者		
	人数	平均点	最高点	最低点	平均点	準1級	2級	準2級
1000~	4	961.4	1136	1011	182	3	1	
900点台	24	934.2	977	902	167.7		17	4
800点台	65	844.3	899	803	139.1	1	21	31
700点台	90	752	799	700	115.8		13	45
600点台	25	659.9	698	608	97.5		1	6
599以下	6	505.5	582	449	91.3			

3 CEFRでまとめ

CEFR	GTEC				センター	英検取得者		
	人数	平均点	最高点	最低点	平均点	準1級	2級	準2級
B2	0							
B1	10	1007	1136	960	175	3	6	
A2	178	801	955	692	129	1	46	82
A1	25	614	681	449	94		1	4

④CEFRで見た実態

「英語は4技能の総合力で」の理念には異論なし、
共通テストに民間試験でくっつけるやり方に
NOを出した

- 大学の総合型選抜や学校推薦型、
個別試験に利用する今の活用法でよいのでは
- 個別試験の「英語」は各大学の作問文化

⑤共通テストが実施されます

2年分、2回の試行調査を経て

本校各教科で問題分析


→「H30の2回目の方がセンターに近い作問？」

「平均点5割」のためには

「現行センターでも知識オンリーでない、

思考力を問う問題は作題あり」

「記述式はH30は洗練されたが、トーンダウン
のにおいがあり」



第1回目の実施まで200日

生徒たちが納得の結果を残せるよう

授業や指導法の工夫

⑥提案

「英語は4技能の総合力で」の理念には異論なし、
共通テストに民間試験を活用するやり方について

- 大学の総合型選抜や学校推薦型、
個別試験に利用する今の活用法でよいのでは
- 個別試験の「英語」は各大学の作問文化及び
受験生へのメッセージ

⑥提案 4技能を共通テストで見たいのならば

民間試験の活用でなく、CEFRも利用せず、
大学入試センターが「自前で」作問する、
これしか全てを満足させるものはない、と考えます。

スピーキングは機材及び採点、ライティングは自然と
「記述式」になりますので採点の問題がありますが、
4技能を均等に「この試験で測りますよ」のメッセージ
があると、安心します。